

「闇と火」 2013年7月14日(日) OPEN 17:30 / START18:30

暗い部屋で研ぎ澄まされた静けさの中から立ち上がる音。

各分野のスペシャリストであり、音の創り出す世界の深淵から天空を旅するartistが奏でる、即興音楽。

それは奏者だけではなく、参加者の方々から得るエネルギーからも影響を受け、表現される世界。

どんな世界になるか、はその場にいる人にしか体験できない一度きりの時間。



Shree (ヴォイス、タンブーラ)

1987年以来四半世紀間もっとも多くの時間をインドで過ごす。主に北インドの聖地ヴァラナシでサントウル・タブラ・パカーワジ・声楽などの北インド古典音楽を習う。1992年より北インドの古楽であるドゥルパド声楽をリトウィック・サンニャル教授より師事。声楽の第一の師として現在にいたるまで指導を受けている。2008年2月、智慧の道のグル・ムージュより「Shree」と言うサンスクリット名を授かる。現在は、これまで学んできたことをベースにオリジナルな魂のうたを模索中。



Nori (尺八、バンスリー、タンブーラ、ハーブ)

北インドの竹の笛バンスリー及び尺八製作・演奏。

1952年東京生まれ。19歳のころから世界中を旅する。

竹の笛を愛し、Nori Venugopalの名で北インドの竹の笛バンスリーを製作。



別所誠洋 (タブラ、カホン、ディジュリドゥ、他)

1991年ナムチェバザールで日本クラウンよりCDをリリース。劇団・惑星ピスタチオの舞台音楽を手掛け上岡演劇祭で音楽賞を受賞。1993年よりコルカタにてボビットロウ・デブナス氏にタブラを師事。天空オーケストラを結成し細野晴臣氏との共演やフジロック、グラストンベリー・フェス等に出演し8枚のアルバムをリリース。1997年内藤忠行監督作品「The Song of Africa」のサウンドトラックに参加。2011年京都ファッションカンタータの舞台音楽に参加。ウポポ・ユニット、COSMIX等のパーカッションリストとしても活動中。



南沢靖浩 (シタール、スールバハール、オートハーブ)

1986年よりベナレスにてスラワニ・ビスワス博士にシタールを師事。2006年ベナレスにて巨匠アシュバブーのメモリアルコンサートに出演し現地の新聞各紙で好評を得る。天空オーケストラのメンバーとしても活動。2006年舞踏家 七感弥広彰氏とフランス、ドイツツアーを行い好評を得る。1992年頃より弦楽器スールバハールを手がける。2010年フィリピン環境NPO主催アートプロジェクト「芸術交流と新しい慰霊」に参加。2013年2月韓国済州島国際舞踏フェスティバルに参加。タブラの名手アリフ・カーン氏とも数多く共演。

【会場】 アーツ☆エンターテイメント学院 高等部
〒550-0014 大阪市西区北堀江1-1-27イマイビル3階
<http://www.arts-ent.jp/>

【最寄駅】 大阪市地下鉄「四ツ橋駅」3番出口すぐ
「心斎橋駅」7・8番出口より5分

【定員】 30名(先着順。定員になり次第締め切り)

【予約・問い合わせ】 ultrapj@hotmail.co.jp

【企画】 ウルトラ自由プロジェクトゆきともわはははは
<http://innocence-music.jimdo.com/>

※予約後1週間以内にお振込みが確認できない場合はキャンセルとなります

※HPのお問い合わせフォームからでもお申込みいただけます

※メールタイトルに「闇と火申込み」と入れてご連絡下さい

